



平成19年3月期 決算説明会資料

平成19年6月4日（大阪）

平成19年6月5日（東京）

石原薬品株式会社

（大証二部 4462）

目次

➤ 決算の概要

平成19年3月期の実績及び概要

営業の状況

営業品目別売上高3期比較

平成20年3月期の業績予想

次期の見通し

中長期経営計画について

営業品目別売上高推移

経営の基本方針、目標とする経営指標等

《参考資料》

・製品紹介

・キャッシュ・フローと設備投資額の推移

・総資産・純資産・自己資本当期純利益率の推移

・EPS（1株当たり当期純利益）BPS（1株当たり純資産）

➤ 決算の詳細

損益計算書の概要

売上高の四半期推移

製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移

貸借対照表の概要

キャッシュフロー計算書の概要

営業品目区分の変更

売上高の新・旧区分の対比表

研究開発人員と研究開発費

➤ 新製品、新技術開発の状況

鉛フリーに関する業界動向について

研究開発の状況

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願い致します。



決算の概要

代表取締役社長 竹森 莞爾

平成19年3月期実績及び概要

単位：百万円、%

	平成18年3月期		平成19年3月期				期初計画	期初計画との差異
	年間	伸率	上期	下期	年間	伸率	金額	差額
売上高	15,008	-2.7%	7,415	7,703	15,118	0.7%	14,700	418
営業利益	1,804	14.4%	975	856	1,831	1.5%	1,930	-99
経常利益	1,850	17.8%	996	889	1,885	1.9%	1,940	-55
当期純利益	1,111	14.6%	602	548	1,150	3.5%	1,180	-30
1株当り当期純利益	145.09				155.00			

(注) 1株当り当期純利益は円単位、その他は百万円単位、百万円未満切り捨て

《概要》

増収増益

金属表面処理剤、前半好調、第4四半期、輸出中心に在庫調整の影響で需要伸び悩む

鉄鋼業界向け工業薬品売上高大幅増

販管費、研究開発費等増

営業の状況

- **電子関連分野** … 売上高 91.78億円（前年同期 97.64億円 6.0%減）売上構成比 60.7%
 - (1) **金属表面処理剤**（溶接用処理剤含） … 売上高 57.49億円（前年同期 56.99億円 0.9%増）
 - 電子部品用外装めっき液（IC・チップ部品・コネクタ等）
電子部品業界の動きに連動し前半は好調に推移、期後半は、電子部品、デバイスなど在庫積み上がりによる生産調整の影響で、年明けより需要が伸び悩んだ
めっき液の鉛フリー化への切り替えはほぼ完了。安定化に向けた販売活動を実施
 - (2) **電子材料及び機器** … 売上高 34.29億円（前年同期 40.64億円 15.6%減）
 - ニッケル超微粉（対前年24.1%減）
ユーザーの購買政策変更に伴う影響が当上半期まで残った
 - 機能材料加工品等（対前年3.1%減）
半導体製造装置向け・液晶製造装置向けにやや需要が伸び悩み、前年を下回った
 - 化成処理液自動管理装置及び試薬等（対前年25.5%増）
プリント基板・各種フラットパネル向けなどに積極的に導入促進をはかり、前年を上回った
- **自動車用品分野** … 売上高 13.54億円（前年同期 13.81億円 1.9%減）売上構成比 9.0%
 - 業務用ケミカル品を中心に営業活動を展開、新車販売台数の低迷、車両本体の品質向上による自動車ケミカル品の使用量減、暖冬の影響などカーアフターマーケットは厳しい環境が続いた
- **工業薬品分野** … 売上高 45.85億円（前年同期 38.63億円 18.7%増）売上構成比 30.3%
 - 鉄鋼向け鋼板用薬剤等、需要伸長、産廃、臭気対策等の環境関連薬剤が増加し販売は好調に推移

営業品目別売上高3期比較

単位：百万円、%

	平成18年3月期		平成19年3月期		平成20年3月期 (予想)		差異
製品 金属表面处理剤	5,140	34.2%	5,216	34.5%	5,620	36.0%	404
電子材料及び機器	1,021	6.8%	1,120	7.4%	1,180	7.6%	60
電子関連分野 計	6,161	41.0%	6,336	41.9%	6,800	43.6%	464
自動車用化学製品	1,014	6.8%	956	6.3%	1,020	6.5%	64
工業薬品	151	1.0%	156	1.0%	150	1.0%	-6
製品合計	7,326	48.8%	7,447	49.3%	7,970	51.1%	523
商品 金属表面处理剤	560	3.7%	533	3.5%	570	3.7%	37
電子材料及び機器	3,043	20.3%	2,309	15.3%	2,380	15.3%	71
電子関連分野 計	3,603	24.0%	2,842	18.8%	2,950	19.0%	108
自動車用化学製品	368	2.5%	400	2.7%	430	2.7%	30
工業薬品	3,711	24.7%	4,430	29.3%	4,250	27.2%	-180
商品合計	7,682	51.2%	7,671	50.7%	7,630	48.9%	-41
合計	15,008	100.0%	15,118	100.0%	15,600	100.0%	482

尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

平成20年3月期の業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

単位：百万円・%

	平成19年3月期 (実績)				平成20年3月期 (予想)			
	上期	下期	年間	伸率	上期	伸率	年間	伸率
売上高	7,415	7,703	15,118	0.7%	7,600	2.5%	15,600	3.2%
営業利益	975	856	1,831	1.5%	880	-9.8%	1,930	5.4%
経常利益	996	889	1,885	1.9%	880	-11.7%	1,930	2.4%
当期純利益	602	548	1,150	3.5%	530	-12.0%	1,180	2.6%
1株当り当期純利益			155.00		71.43		159.03	
1株当り配当額			36		18		36	

(注) 1株当り当期純利益及び1株当り配当額は円単位、その他は百万円単位、百万円未満切り捨て

尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

次期の見通し

➤電子関連分野

北京オリンピックが開催される2008年上期に向けて薄型テレビや関連の電子部品デバイスが市場を索引し、内需、輸出ともに拡大することが予想される

(1) 電子部品用外装めっき液

伸びが期待されるフリップチップ化に対応したバンプ形成用めっき液、液晶駆動回路関連のCOF対応めっき液等の拡販に注力

(2) 電子材料及び機器

ニッケル超微粉は安定的な売上の確保

(3) 機能材料加工品

半導体製造装置、液晶製造装置業界の設備投資に伴う部品需要の開拓を促進

(4) 化成処理液自動管理装置等

フラットパネル業界を中心に装置導入を促進、電子デバイス業界、その他の新たな市場への技術的対応により売上拡大をはかる

➤自動車用品分野

業務用自動車ケミカル品を中心に商品開発、販売設計、顧客管理徹底をはかり売上拡大をはかる

➤工業薬品分野

現有の鉄鋼、化学、電子関連、環境関連の他、新規性の高い商材活用による新規市場への展開により売上拡大をはかる

中長期経営計画について（平成19年度～平成21年度予想）

《 基本的な取り組み方針 》・・・ 増収、増益のステージへ

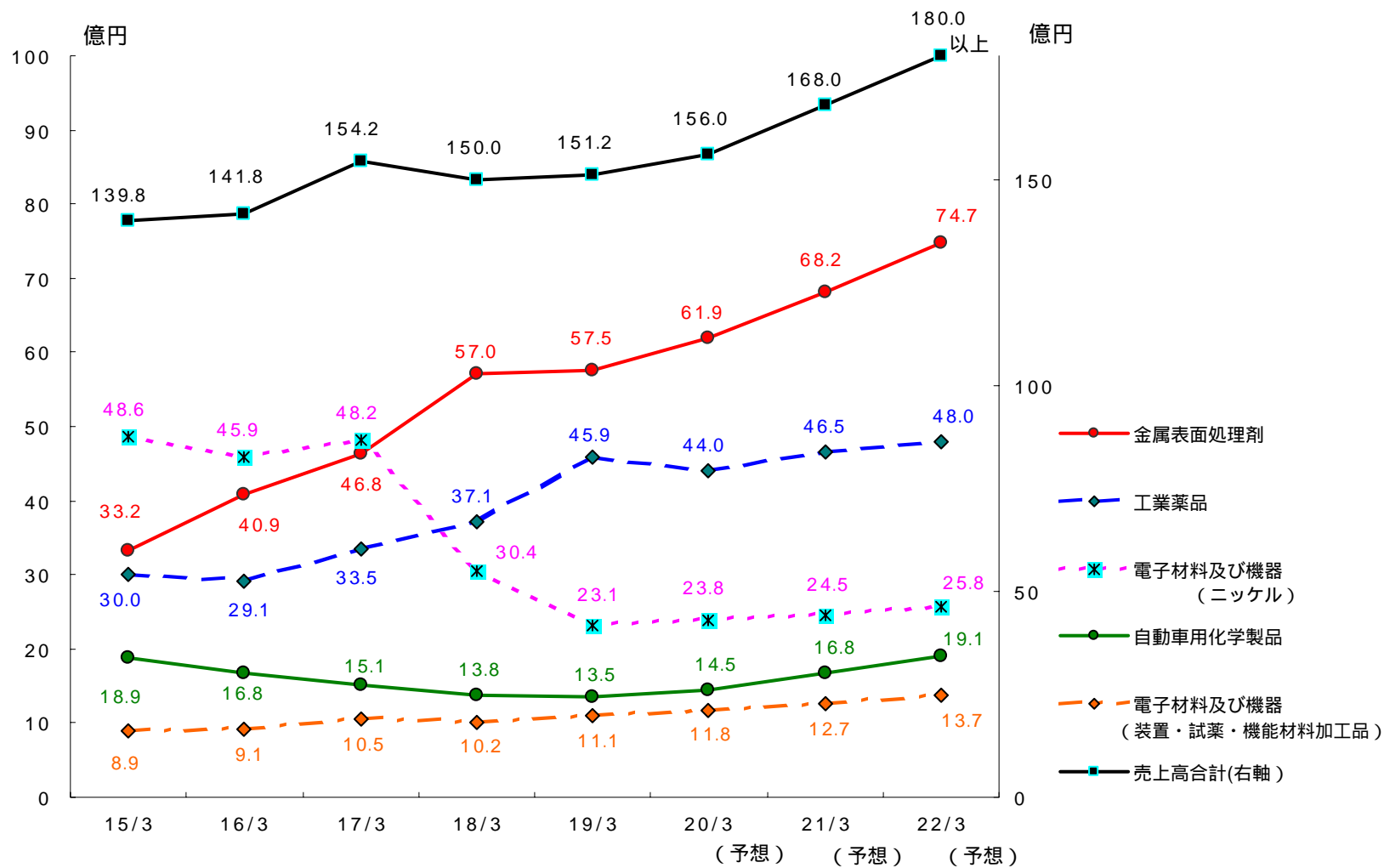
- (1) 新製品開発、新技術開発のため研究開発投資を積極的におこなう
- (2) 基礎となる3つの分野（電子関連分野・自動車用品分野・工業薬品分野）と4つの事業（電子関連分野における金属表面処理剤・電子材料及び機器・自動車用化学製品・工業薬品）をバランスよく展開し、各々の事業の収益力を高め、その総体として会社の業績の伸長をはかる
- (3) 自社製品比率を高め、売上総利益の拡大をはかり収益力の高い会社を目指す
- (4) 電子材料関連分野を重点開発分野と位置づけ第5の事業を育成する

《 目標 》

	平成18年3月期		平成19年3月期		平成20年3月期		平成21年3月期		平成22年3月期	
	実績	(構成比)	実績	(構成比)	予想	(構成比)	予想	(構成比)	予想	(構成比)
製品売上高	73.2億円	(48.8%)	74.5億円	(49.3%)	80.0億円	(51.3%)	88.0億円	(52.4%)	95.0億円	(52.8%)
商品売上高	76.8億円	(51.2%)	76.7億円	(50.7%)	76.0億円	(48.7%)	80.0億円	(47.6%)	85.0億円	(47.2%)
計	150.0億円		151.2億円		156.0億円		168.0億円		180.0億円	以上
経常利益	18.5億円		18.9億円		19.3億円		23.0億円		26.0億円	以上
当期純利益	11.1億円		11.5億円		11.8億円		14.0億円		16.0億円	以上
売上高経常利益率	12.3%		12.5%		12.4%		13.7%		14.4%	

尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

営業品目別売上高推移



尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

経営の基本方針、目標とする経営指標等

《 経営の基本方針 》

当社は自己開発・商品開発・市場開発の「3つの開発」を企業理念とし、ニッチ市場といわれる事業分野で高い市場占有率を維持し、基幹となる3つの分野で事業をバランスよく展開し、各々の収益力を高め、総体として会社の業績の伸長をはかる

このような事業活動を通じて常に新しいニーズの創造・発掘に取り組み、会社の発展を通じて、株主・取引先・従業員など関係各位の信頼と期待に応え、社会に貢献していくこと

 企業価値及び株主共同の利益の確保・向上に努める

《 目標とする経営指標 》

- (1) 自社製品の売上拡大により、製品売上高の構成比50%以上を維持し
売上総利益の拡大をはかる
- (2) 売上高経常利益率10%以上を維持する
- (3) ROE（自己資本当期純利益率）・EPS（1株当たり当期純利益）の向上

《 利益配分の基本方針 》

- (1) 業績に裏付けられた安定的、継続的な配当を基本とする
- (2) 研究開発や新事業、新技術開発など将来の企業価値を高めるための投資に優先して充当する

《 配当の推移 》

平成14年3月期	平成15年3月期	平成16年3月期	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期
15.00円	15.00円	22.50円	34.00円	36.00円	36.00円

決算の詳細

常務取締役 浅野 真司

損益計算書の概要

単位：百万円

(1) 売上高・・・109百万円増

製品売上・・・121百万円増
商品売上・・・11百万円減

(2) 売上総利益・・・141百万円増

売上総利益率改善

27.2% 30.3% 31.0%
(H17.3期) (H18.3期) (H19.3期)

売上構成の変化

製商品割合	製品	商品
H19.3期	49.3%	50.7%
H18.3期	48.8%	51.2%
H17.3期	42.3%	57.7%

売上総利益率

	製品	商品
H19.3期	55.6%	7.2%
H18.3期	54.6%	7.1%
H17.3期	54.5%	7.1%

(3) 販売費及び一般管理費

・・・113百万円増

人件費 38百万円増
研究開発経費 44百万円増
減価償却費 35百万円増

	平成18年3月期		平成19年3月期		増減金額
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	15,008	100%	15,118	100%	109
売上原価	10,457	69.7%	10,426	69.0%	31
売上総利益	4,550	30.3%	4,692	31.0%	141
販売費及び 一般管理費	2,746	18.3%	2,860	18.9%	113
営業利益	1,804	12.0%	1,831	12.1%	27
営業外利益	106	0.7%	94	0.6%	12
営業外費用	60	0.4%	40	0.2%	20
経常利益	1,850	12.3%	1,885	12.5%	35
特別利益	1	0.0%	1	0.0%	0
特別損失	57	0.4%	19	0.1%	38
税引前 当期純利益	1,795	11.9%	1,868	12.4%	73
法人税等	684	4.5%	718	4.8%	34
当期純利益	1,111	7.4%	1,150	7.6%	39

売上高の四半期推移

単位：百万円

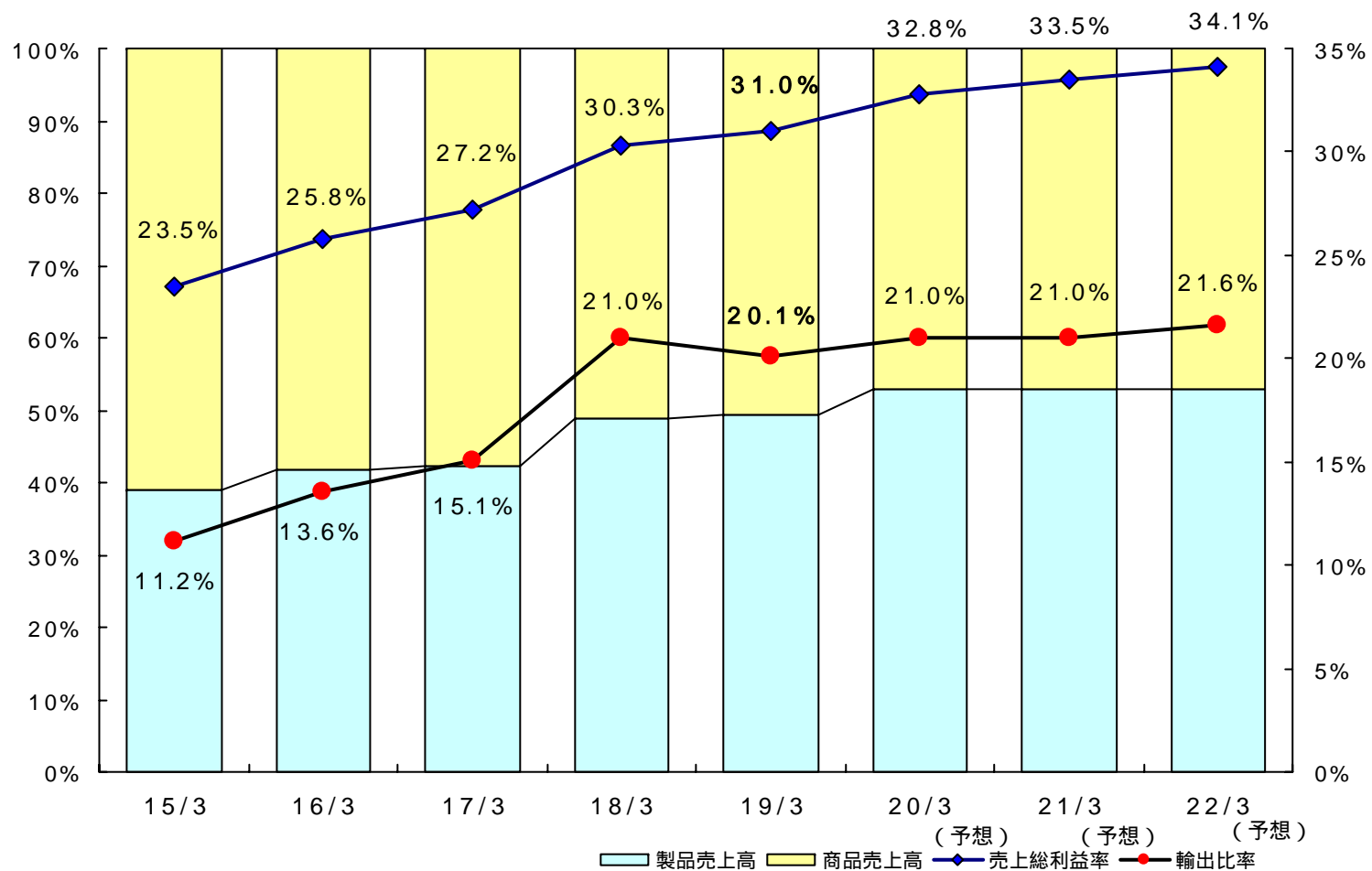
平成18年3月期（実績）	1/4	2/4	3/4	4/4	年間合計
金属表面処理剤	1,285	1,386	1,580	1,448	5,699
電子材料及び機器	1,176	1,150	906	832	4,064
自動車用化学製品	383	370	322	307	1,382
工業薬品	946	933	934	1,050	3,863
合計	3,790	3,839	3,742	3,637	15,008

平成19年3月期（実績）	1/4	2/4	3/4	4/4	年間合計
金属表面処理剤	1,458	1,478	1,512	1,301	5,749
電子材料及び機器	770	793	910	956	3,429
自動車用化学製品	361	357	338	299	1,355
工業薬品	1,008	1,190	1,135	1,252	4,585
合計	3,597	3,818	3,895	3,808	15,118

参考（旧区分）

平成20年3月期（予想）	1/4	2/4	3/4	4/4	年間合計
金属表面処理剤	1,450	1,530	1,610	1,600	6,190
電子材料及び機器	840	880	930	910	3,560
自動車用化学製品	350	360	390	350	1,450
工業薬品	1,060	1,130	1,120	1,090	4,400
合計	3,700	3,900	4,050	3,950	15,600

製品・商品別売上高比率・売上総利益率・輸出比率推移



尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

貸借対照表の概要

単位：百万円

主な資産・負債の増減内容

- (1) 現預金・・・226百万円減
 研究棟増設工事代支払等
- (2) 売上債権・・・207百万円増
 売掛金・・・362百万円増
 受取手形・・・155百万円減
- (3) 棚卸資産・・・55百万円減
 商品・・・136百万円減(ニッカル粉)
 原材料・・・70百万円増
- (4) 有形固定資産・・・204百万円増
 設備投資額・・・446百万円
 研究棟、物流倉庫
 減価償却費・・・239百万円
- (5) 投資その他資産・・・336百万円増
 投資有価証券 289百万円
 (償還・運用)他
- (6) その他流動負債・・・160百万円減
 設備支払手形減、未払金増

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減金額
(資産の部)			
流動資産	8,188	8,139	48
現預金	3,041	2,815	226
売上債権	4,102	4,310	207
有価証券	-	-	-
棚卸資産	921	866	55
その他	122	148	26
固定資産	8,481	9,020	538
有形固定資産	2,688	2,892	204
無形固定資産	7	6	1
投資その他の資産	5,786	6,122	336
資産合計	16,669	17,159	490
(負債の部)			
流動負債	4,203	3,959	244
仕入債権	2,938	2,949	11
1年以内返済予定 長期借入金	184	89	95
その他	1,081	921	160
固定負債	389	340	49
長期借入金	39	32	7
その他	350	308	41
負債合計	4,592	4,299	293
(資本の部)			
資本合計	12,077	-	-
負債・資本合計	16,669	-	-
(純資産の部)			
純資産合計	-	12,860	-
負債・純資産合計	-	17,159	-

キャッシュフロー計算書の概要

現金及び現金同等物の増加 …… 226百万円 (期末残高 2,806百万円)

(1) 営業活動によるキャッシュフロー …… 1,171百万円

利益 1,868百万円、減価償却費 242百万円、売上債権増加 207百万円
法人税等支払 728百万円等

(2) 投資活動によるキャッシュフロー …… 1,021百万円

投資有価証券取得 1,552万円、売却・償還による収入 1,273万円等
固定資産取得 740万円

(3) 財務活動によるキャッシュフロー …… 370百万円

長期借入金の借入及び返済 103万円、配当金支払 267万円等

単位：百万円

	平成18年3月期	平成19年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,303	1,171
投資活動によるキャッシュ・フロー	942	1,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	447	370

現金及び現金同等物の増減額	79	226
現金及び現金同等物の期首残高	3,112	3,032
現金及び現金同等物の期末残高	3,032	2,806

営業品目区分の変更

平成20年3月期（平成19年4月1日～平成20年3月31日）より、営業品目区分を以下の通りとし、第1四半期の表示より変更致します

旧		新	
区分	主要品目	区分	主要品目
金属表面処理剤	電子部品用外装めっき液	金属表面処理剤及び機器等	電子部品用外装めっき液
	溶接用処理剤等		化成処理液自動管理装置及び試薬等
電子材料及び機器	機能材料加工品	電子材料	機能材料加工品
	化成処理液自動管理装置及び試薬等		ニッケル超微粉
	ニッケル超微粉		
自動車用化学製品	自動車用化学製品	自動車用化学製品等	自動車用化学製品
			溶接用処理剤等
工業薬品		工業薬品	

《 理由 》

- (1) 溶接用処理剤等：対応業界は建機、造船、自動車等で、営業形態は自動車用品と同様にルート販売が中心、自動車用品販売部門が取り扱い、損益管理も行っている現状に合わせるため
- (2) 化成処理液自動管理装置及び試薬：対応業界は電子関連分野で、液晶等のフラットパネル、プリント基板の生産工程向けや機能めっき向け等で、対応業界、技術開発分野の共通性等から金属表面処理剤で管理する方がより適切であるため

売上高の新・旧区分の対比表

【現行の区分】

平成18年3月期 (実績)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤	2,671	3,028	5,699
電子材料及び機器	2,326	1,738	4,064
自動車用化学製品	753	629	1,382
工業薬品	1,879	1,984	3,863
合計	7,629	7,379	15,008

平成19年3月期 (実績)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤	2,936	2,813	5,749
電子材料及び機器	1,563	1,866	3,429
自動車用化学製品	719	636	1,355
工業薬品	2,197	2,388	4,585
合計	7,415	7,703	15,118

平成20年3月期 (予想)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤	2,980	3,210	6,190
電子材料及び機器	1,720	1,840	3,560
自動車用化学製品	710	740	1,450
工業薬品	2,190	2,210	4,400
合計	7,600	8,000	15,600

【新区分】

単位：百万円

平成18年3月期 (実績)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤及び機器等	2,794	3,191	5,985
電子材料	2,121	1,488	3,609
自動車用化学製品等	835	716	1,551
工業薬品	1,879	1,984	3,863
合計	7,629	7,379	15,008

平成19年3月期 (実績)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤及び機器等	3,127	3,015	6,142
電子材料	1,284	1,573	2,858
自動車用化学製品等	806	726	1,532
工業薬品	2,197	2,388	4,585
合計	7,415	7,703	15,118

平成20年3月期 (予想)	上期	下期	年間計
金属表面処理剤及び機器等	3,190	3,410	6,600
電子材料	1,420	1,540	2,960
自動車用化学製品等	800	840	1,640
工業薬品	2,190	2,210	4,400
合計	7,600	8,000	15,600

研究開発人員と研究開発費

	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 (予想)	21/3 (予想)	22/3 (予想)
従 業 員	152	161	180	182	184
研究開発人員	37	43	53	55	58
割 合	概ね1/4が研究開発要員 1/3へ						

単位：百万円

研究開発費	495	559	639	680	850	880	950
研究開発用設備取得 (リース資産も含む)	30	50	54	104	100		

新製品・新技術開発の状況

代表取締役専務 時澤 元一

- 鉛フリーに関する業界動向について
- 研究開発の状況

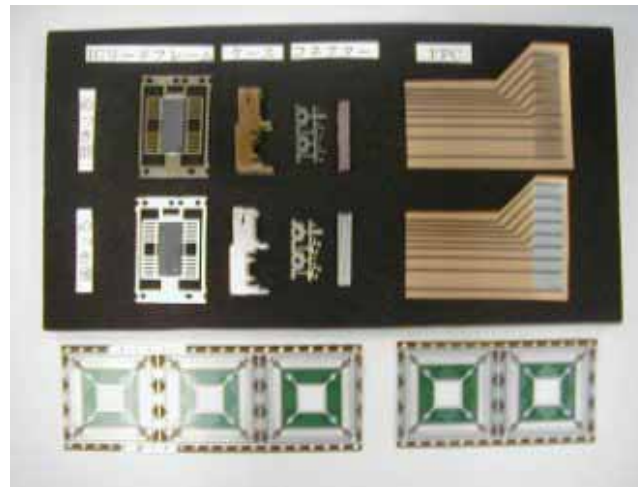
《 参 考 资 料 》

製品紹介

電子関連分野製品



リードフレーム・TAB めっき前、めっき後



電子部品



IC



コンデンサ



コネクタ



抵抗

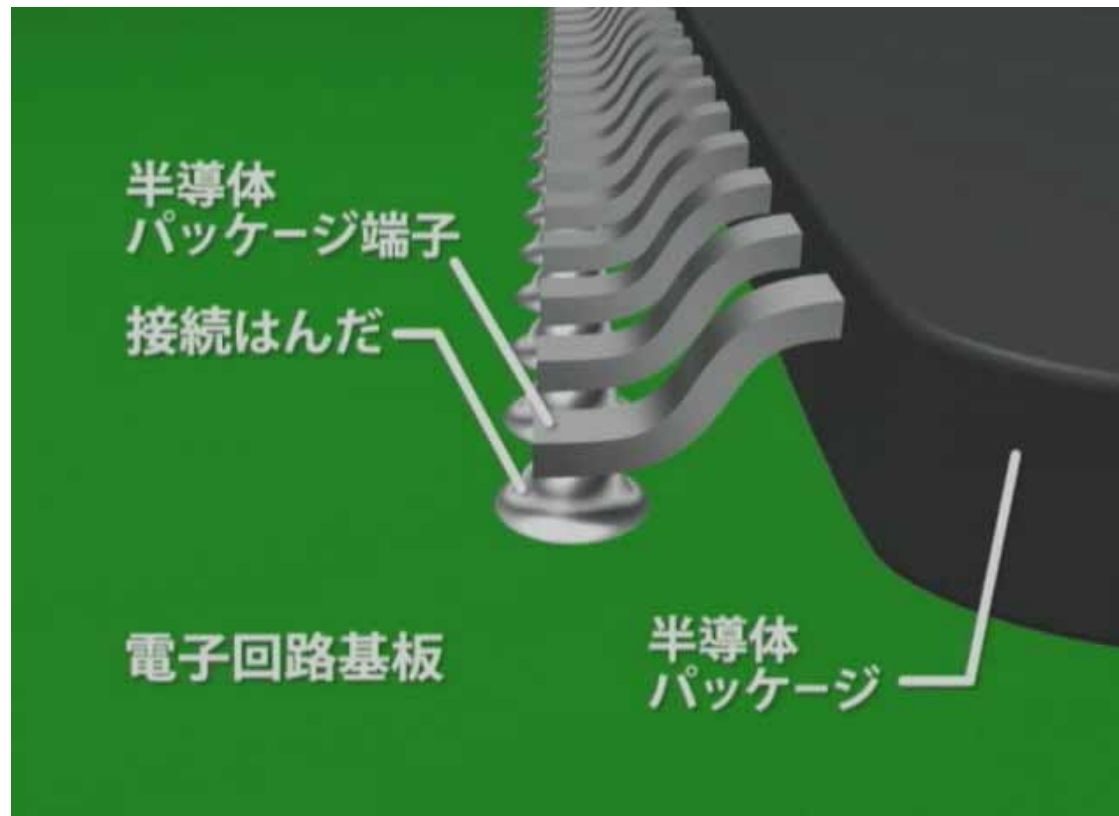


めっきした電子部品を実装したプリント基板

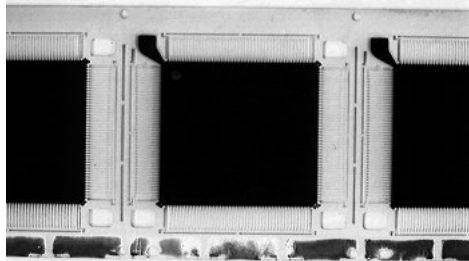


金属表面処理剤

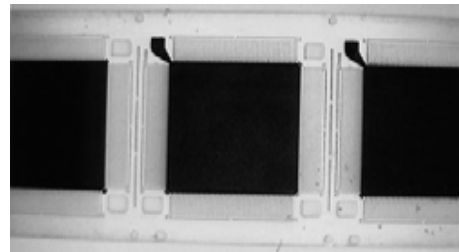
半導体リードフレームとめっき



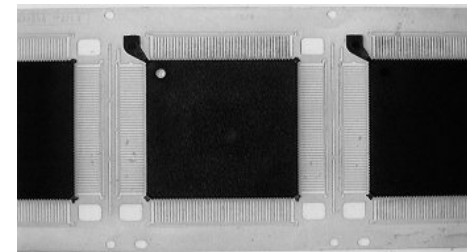
めっき部品 1 (Lead Frame)



(a) Sn-3Bi



(b) Sn-1Cu

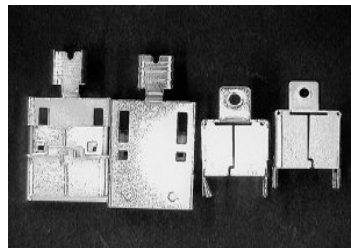


(c) Sn-3.5Ag

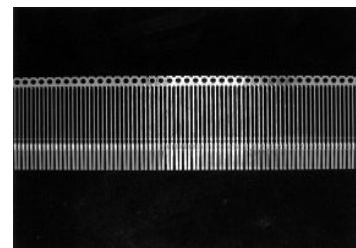
めっき部品 2 (Connector)



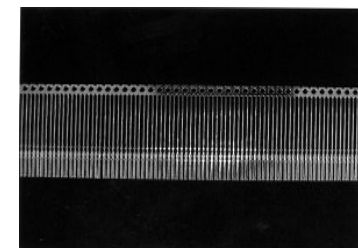
(a) Sn-1Cu Barrel Plating



(b) Sn-2Bi Barrel Plating

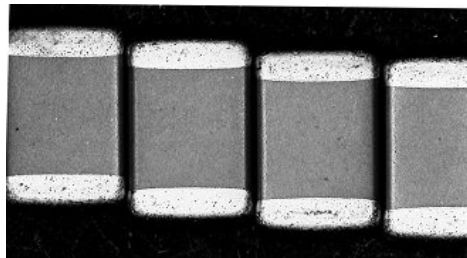


(c) Sn-1Cu R to R plating

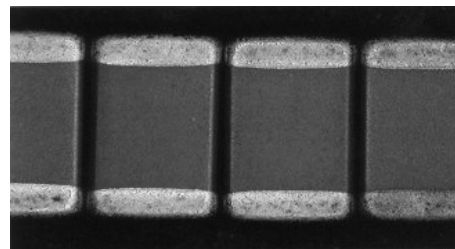


(d) Sn-2Bi R to R Plating

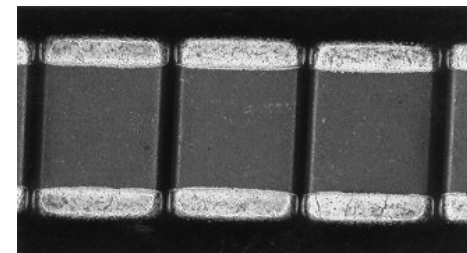
めっき部品 3 (Chip)



(a) Sn

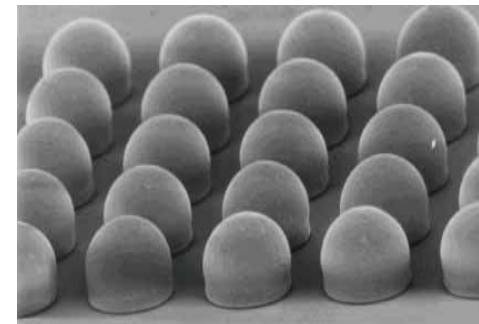
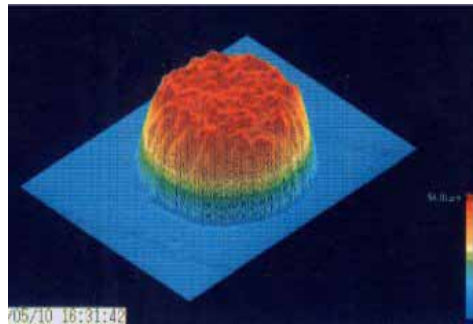
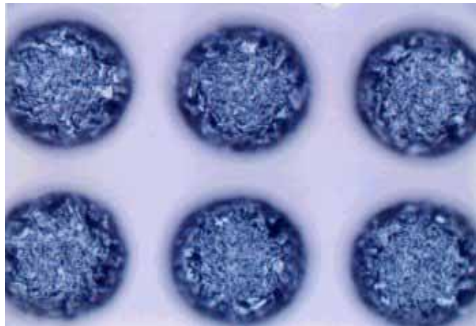


(b) Sn-2Bi



(c) Sn-1Cu

めっき部品 4 (Bump)



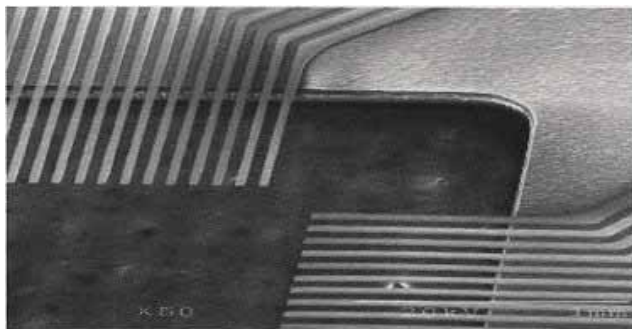
As Plated

After Reflow

バンプとは・・・数十ミクロン程度の金やハンダの小さなボールを電極部分にくっつけコブのような突起電極にしたもので、半導体素子と基板上の配線電極を接合する際に外部接続端子として実装する場合に用いる技術

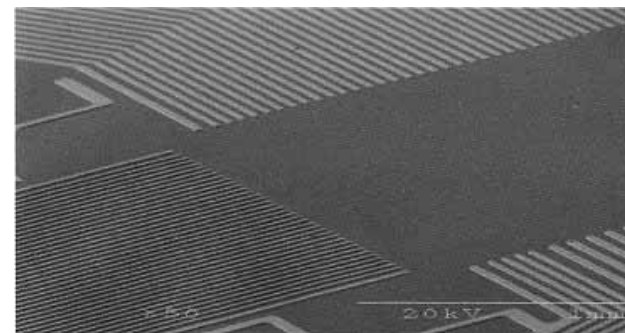
めっき部品 5 (TAB・COF)

T A B



TABとは・・・フィルム状のフレキシブル基板上に半導体チップを搭載する回路を焼きつけた実装基板、液晶ドライバー回路実装に多用

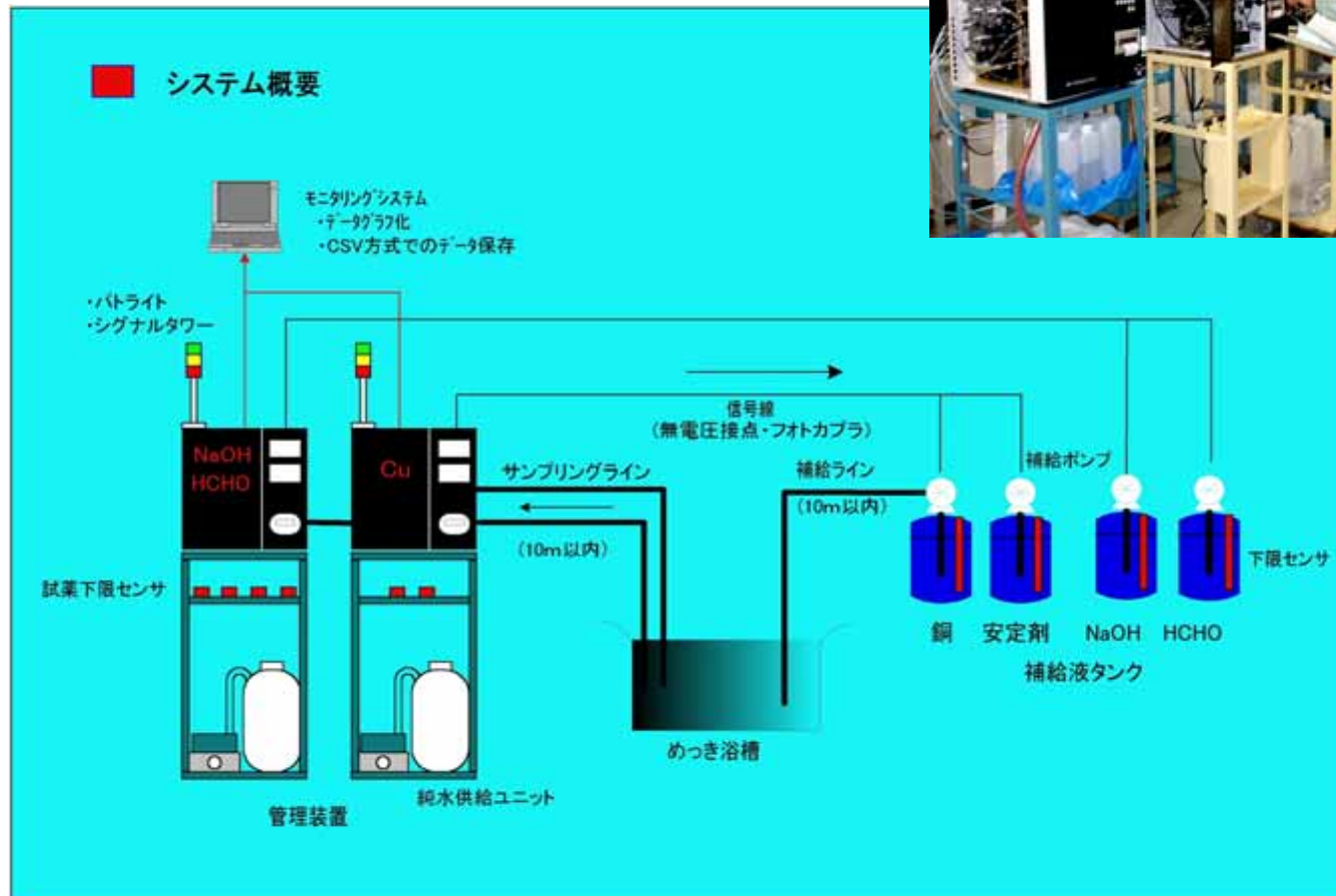
C O F



COFとは・・・携帯電話用などのフラットパネルディスプレイのドライバー搭載用途等に使用されるファインピッチ化に対応した実装技術

電子材料及び機器

化成処理液自動管理装置



電子材料及び機器

CFRP加工品



セラミック加工品



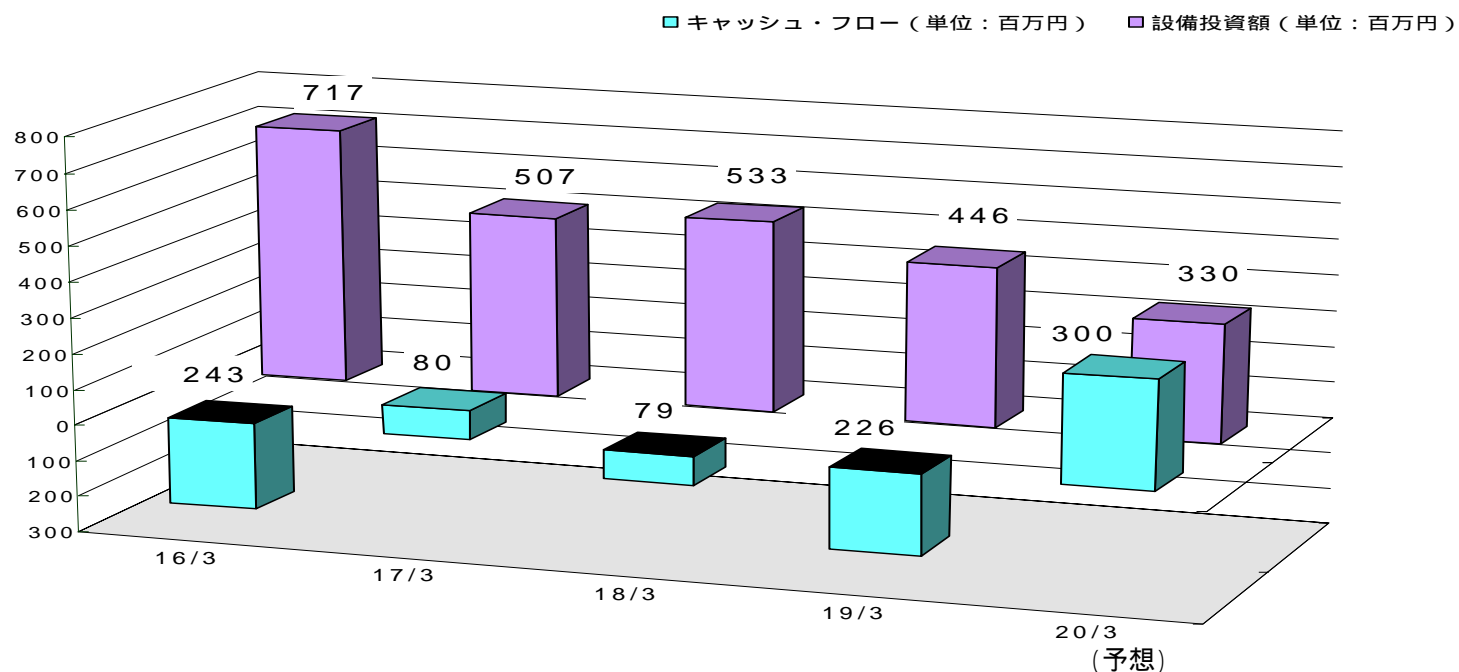
自動車用化学製品



キャッシュ・フローと設備投資額の推移

単位:百万円

		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 (予想)
【Cash Flow】	キャッシュ・フロー	243	80	79	226	300
【Capital Investment】	設備投資額	717	507	533	446	330
【Depreciation Expenses】	減価償却費	159	196	213	239	270

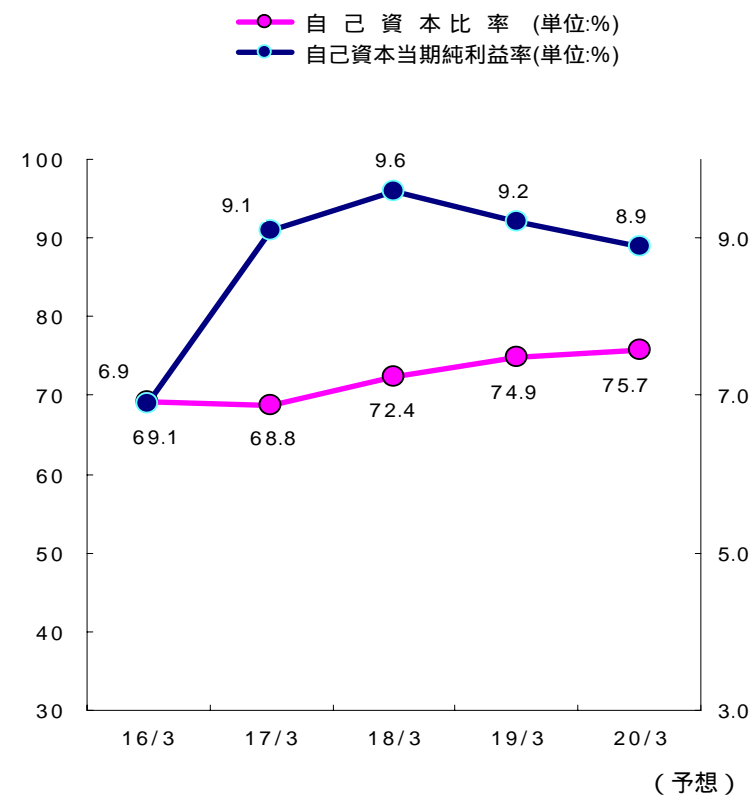
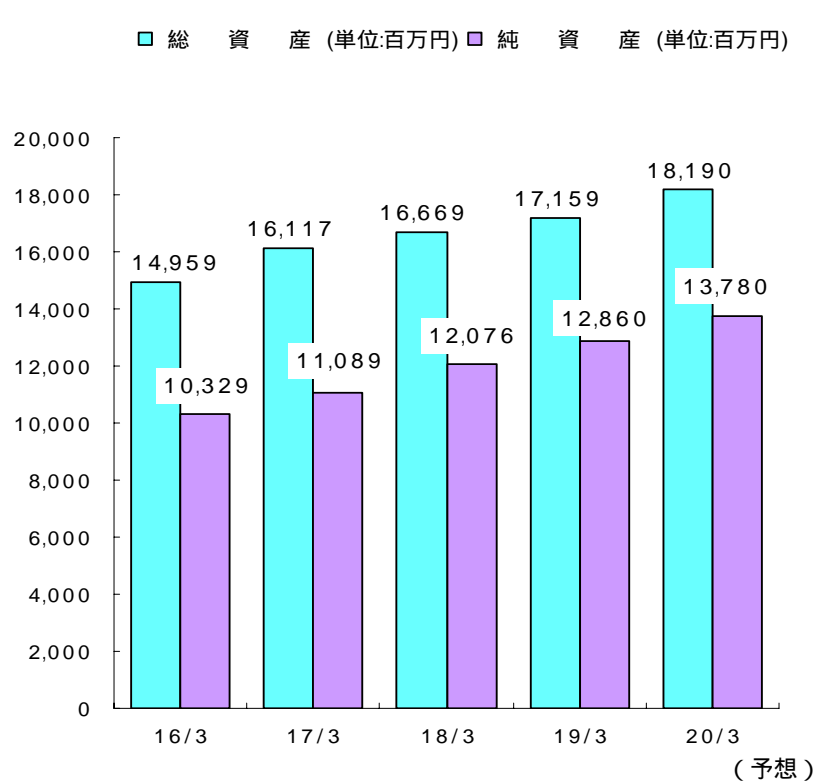


尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

総資産・純資産・自己資本当期純利益率の推移

単位:百万円、%

		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 (予想)
【Total Assets】	総資産 (単位:百万円)	14,959	16,117	16,669	17,159	18,190
【Shareholders Equity】	純資産 (単位:百万円)	10,329	11,089	12,076	12,860	13,780
【ROE】	自己資本当期純利益率(単位:%)	6.9	9.1	9.6	9.2	8.9
【% of Shareholders Equity】	自己資本比率 (単位:%)	69.1	68.8	72.4	74.9	75.7



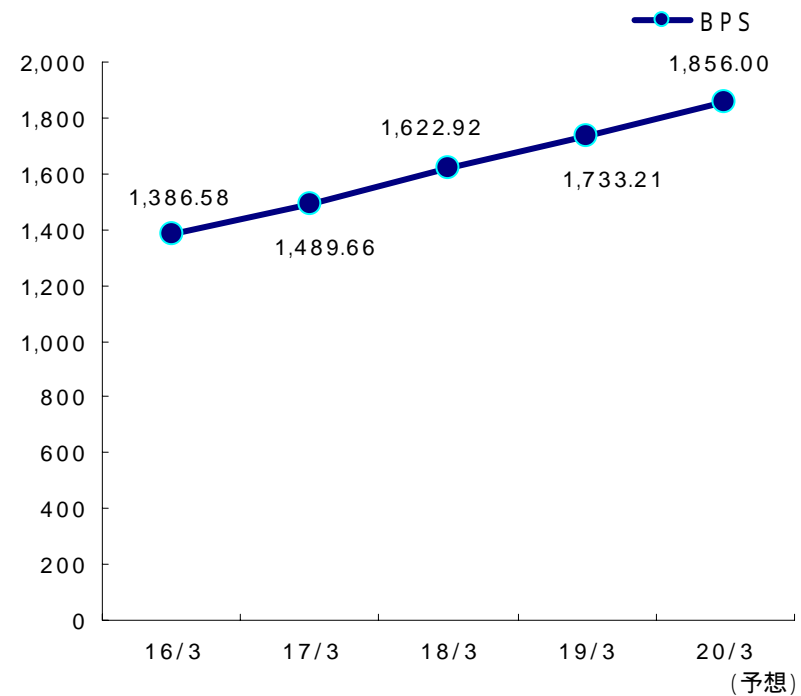
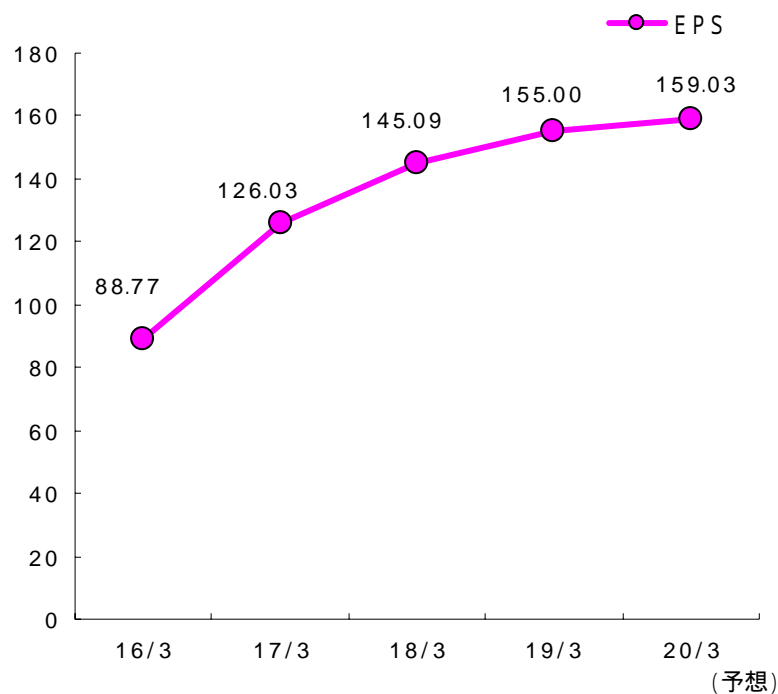
尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

E P S ・ B P S

1株当たり当期純利益・1株当たり純資産

単位:円

		16/3	17/3	18/3	19/3	20/3 (予想)
E P S	1株当たり当期純利益	88.77	126.03	145.09	155.00	159.03
B P S	1株当たり純資産	1,386.58	1,489.66	1,622.92	1,733.21	1,856.00



尚、予想数値は注意事項ですので、お取り扱いには注意下さい。

ありがとうございました

平成19年6月

石原薬品株式会社

(大証二部 4462)

URL: <http://www.unicon.co.jp>